

ピオレ姫路 ピオレラボ始動

～ポップアップスペースを中心とした新たな情報発信基地～

神戸 SC 開発株式会社（代表取締役社長 杉木孝行）は、10月中旬から、運営するショッピングセンター（以下、「SC」）の「ピオレ姫路」内に、ポップアップスペースを中心とした情報発信基地「ピオレラボ」を新設します。

このスペースで、クラウドファンディングや EC 企業・地域事業者等と連携し、商品展開やワークショップを開催することで、姫路および播磨から様々な新しいコトを発信します。同時にこのスペースの活用を希望する企業や団体を募集します。

姫路の中心から、新たな人々との交流を通じて、地域が豊かになる情報発信をしていきます。



（ピオレラボ ロゴデザイン）



（ポップアップスペース イメージ / ピオレ2 エスカレータ下広場）
※設計・デザイン「株式会社 スペース」

ピオレラボには、こだわりを持った目新しいショップが期間限定で登場します。

たとえば・・・



ネット限定ショップの出店



こだわりを持った地域のお店



クラウドファンディングを通じた新たな商品販売やサービス展開

なお、連携先の企業名やイベントの具体的な内容は、9月下旬に、改めてお知らせします。

【ピオレラボ特設サイト】 <https://piole.jp/himeji/piolo-labo/> （ピオレ姫路 HP 内）

【別紙】

【業務提携企業について】

ピオレラボ始動時においては、以下の企業と業務提携を行い、ポップアップスペースの展開を行います。

■ クラウドファンディング関連のポップアップストア誘致

国内最大級のクラウドファンディング・プラットフォーム運営会社と業務提携を行います。同社が持つクリエイティブなプラットフォームをピオレラボのリアルの場所で展開することで、様々な可能性を見出し、ラボに集うお客様にも新たな発見をしていただくことを目指しています。

ピオレラボのポップアップスペースにおける初回出店は、同社が誘致するクラウドファンディング実施者を予定しています。

■ EC 関連のポップアップストア誘致

ポップアップストア展開スペースのマーケットプレイス「SHOP COUNTER(ショップカウンター)」の企画・開発・運営を行う、株式会社 COUNTERWORKS(カウンターワークス)と業務提携を行います。

同社はポップアップストア展開のマッチングサービスを提供するなど、ポップアップストアのプロフェッショナル集団です。ピオレラボのポップアップスペースに、リアルの場での事業拡大や購買者との密なコミュニケーションを目指す EC 事業者を誘致し、EC とリアルが融合したシーンを構築します。なお、出店の申し込みはこちらから(<https://shopcounter.jp/space/1895>)お願いいたします。

【ピオレラボコンセプト】

ピオレラボは、ヒメジそしてハリマから新しく魅力的な情報を発信する、ポップアップスペースを中心とした、ピオレの新しいカタチです。

この地域を、楽しく豊かにできるコト
新しい発想で、何かを産みだせるヒト
世界に誇るべき伝統を拓げるツール

今後のピオレのあり方を空想しながら創りあげた空間です。

ここから始まる

「コミュニティ」「イベント」「ワークショップ」「クリエイティブ」をキーワードとした、多種多様な新しい体験を通じて、この空間で交流していくすべての人々と共感し、ピオレの新たな価値を生み出していくことを宣言します。

【ロゴデザイン コンセプト】



姫路には豊かな自然があります。

∩はポップアップスペースの「フレーム」

IIIは市川などの「川」

▲は書写山のロープウェイと「山」

☪は家島諸島と「海」

を表しています。

あわせて、III▲☪は姫路の象徴でもある姫路城の狭門も表現しています。

— ロゴデザインは、姫路在住のデザイナーで地域情報サイト「てくてく姫路」を運営する「柳田さわこ」氏が手掛けました—

【ポップアップスペース 空間コンセプト】



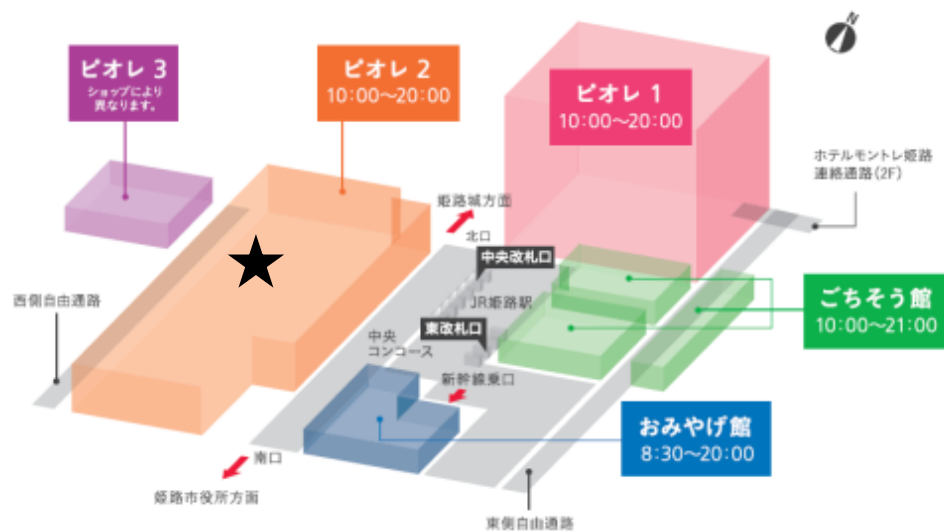
新たなコトが生まれ、そこに集う人々が収穫する。野菜の収穫の場所であるビニールハウスをイメージしたデザインで、フレキシブルでシンボリックな空間が登場します。ポップアップスペースとして出店する多種多様な事業者の皆様が、どんなシーンでも対応しやすい造りとなっています。

- ※設置する広場の広さ 約 35 平方メートル
- ※スペース（建物）の広さ 約 10 平方メートル

〔ピオレラゴ ポップアップスペース位置〕

ピオレ 2 エスカレータ下広場で展開します。(以下マップの★箇所)

【館マップ】



【フロアマップ】

